

地域みらい図ワークショップ

—地域の未来をみんなの手で—

～鎌倉市腰越地区レポート～



実施日程：令和7年（2025年）6月14日（土） 場所：腰越学習センター多目的室 参加者：15名

主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに住らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人に役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

実施内容

当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換（困りごと・大事にしたいことの共有）
- ・地域みらい図づくり（架空の地図に、腰越地区のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる）

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。



腰越地区で描く「未来の風景」（地域みらい図より）



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。



腰越地区で描く「未来の風景」(地域みらい図より)

○未来の風景①：海や祭りをきっかけに、ゆるくつながる場が地域にある

- ・海や神社、お祭りなど、腰越らしい地域資源を通じて、人が自然に集まり、つながる。
- ・お祭りに関わる人だけでなく、見る人、少し手伝う人も含めて、地域との接点が広がる。
- ・伝統行事や地域の風景が、世代を超えて関われる場として活かされる。

○未来の風景②：子どもや若い世代にも居場所があり、地域とのつながりが続いていく

- ・学校でのつながりや地域行事への参加が、卒業後や成長後も地域との関わりにつながる。
- ・子どもの遊び場や、若い人が集まれる場が身近にあり、無理なく地域と関われる。
- ・SNSなども活用しながら、若い世代にも地域の情報や関わり方が届く。

○未来の風景③：買い物・移動・災害時の不安が和らぎ、地域で安心して暮らせる

- ・身近な買い物の場や移動のしやすさが確保され、日常生活の不便さがやわらぐ。
- ・空き家や既存の場所を活かしながら、困りごとを受け止める場や相談の入口が身近にある。
- ・災害への備えや地域での助け合いが進み、いざという時にも安心できる。



腰越地区の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思えますか。(○は5つまで)

区分	回答者数	一人でも気軽に参加できるような内容の活動	定間参加しやすい場所の設置	仕事・学校・家庭と両立できるような内容の活動	自分の特技やスキルを活かすやす	地域住民と気軽な交流すること	活動場所を使いやすくする	新情報やSNSをこまめに発信する	公式ウェブサイトで最も	チラシやパンフレットを配布し、情報提供する
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%	
腰越地区	133人	54.1%	39.8%	33.8%	16.5%	25.6%	19.5%	23.3%	20.3%	

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

メッセージ

【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

TEL 0467-23-3000 (代表)

TEL 0467-23-1075

